

ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科

高嶋 啓



筑波学院大学

TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

目次

教育の責任.....	1
1. 何を担当しているのか.....	1
担当科目	1
教育の理念.....	4
1. 想像力、表現力、感性に優れた学生の育成	4
2. 目標.....	4
3. 成果.....	4
教育の方法.....	5
1. アクティブラーニングを取り入れた授業	5
2. 講義・演習	5
3. デザインと地域との関わり.....	5
教育の成果 および 今後の目標.....	6
参考資料.....	7

教育の責任

1. 何を担当しているのか

メディアデザイン基礎(1年後期総合教養科目 2単位)、メディアデと文化(2年前期専門基礎科目 2単位)、グラフィックデザインA(2年前期専門基礎科目 2単位)、グラフィックデザインB(2年後期専門基礎科目 2単位)、映像サウンド表現A(2年前期専門基礎科目 2単位)、映像サウンド表現B(2年後期専門基礎科目 2単位)、DTP1 [計画と資料の収集] (2年前期専門基礎科目 2単位)、DTP2 [印刷メディア演習] (2年後期専門基礎科目 2単位)、メディアデザイン演習 A1 [視覚伝達デザイン] (3年前期専科目 2単位)、メディアデザイン演習 A2 [視覚伝達デザイン] (3年後期専科目 2単位)、卒業研究
()

担当科目

現在(2019年度現在)の担当科目とその概略は以下のとおりである。

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける 位置づけ)
メディアデザイン基礎	1-4	124	講・ 演	選択	総合教養科目群 教養科目
メディアと文化	2-4	32	講義	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
グラフィックデザインA	2-4	85	演習	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)

グラフィックデザイン B	2-4	65	演習	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
映像サウンド表現 A	2-4	25	講・ 演	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
映像サウンド表現 B	2-4	11	演習	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
DTP1 [計画と資料の収集]	2-4	38	講・ 演	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
DTP2 [印刷メディア演習]	2-4	36	講・ 演	選択	専門基礎科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
デザイン史	2-4	29	講義	選択	専門基礎科目群 共通科 目
色彩学	2-4	90	講・ 演	選択	専門基礎科目群 共通科 目
メディアデザイン演習 A1 [視覚伝 達デザイン]	3	13	演習	選択	専門発展科目群 コース 科目 (メディアデザイン)

メディアデザイン演習 A2 [視覚伝達デザイン]	3	12	演習	選択	専門発展科目群 コース 科目 (メディアデザイン)
卒業研究	4	12	演習	選択	卒業研究

※受講人数は過去の実績による平均受講人数

教育の理念

1. 想像力、表現力、感性に優れた学生の育成

ビジュアル・コミュニケーションへの新しい表現手法を研究し、実践力となる技術を身につける。グラフィックデザイン制作、映像コンテンツ制作など、地域社会での実践的授業を通して、オリジナリティーがありクリエイティブな自己表現力を身につけさせる学生を育成する。

2. 目標

アクティブラーニングとして、実際の企業や団体などと積極的に関わりながら、視覚伝達表現全般の研究を対象とし、企画・プレゼンテーション・制作の段階など、デザインするプロセスを論理的に思考することを目的としている。

3. 成果

主に地域の新たなまちづくりに賛同する自治体、企業、各種団体、などの広報活動を行う為に必要なメディア制作する場の提供や、デザインを通して意見交換する場の提供をおこなっている。そこで、公共のスペースでの研究活動の発表及び、ワークショップによる共同制作の場を提供する。それにより積極的に地域との関わりを深める授業を意識し、学生と市民が協働することにより、デザインの専門性をより社会的な視点から磨き、実際に活用される実体験を積む環境を整備することは、学生のモチベーションを高め、学習効果が期待される。

教育の方法

1. アクティブラーニングを取り入れた授業

本学の活動に協力している自治体、企業、団体、などの広報活動を行う為に必要な素材であるポスター・チラシ等のメディアを作成する場の提供と、つくば市のまちづくりを、デザインを通して学生と意見交換する場を授業の中に提供する。

2. 講義・演習

地図・タイポグラフィ（文字構成）・ピクトグラム（視覚的記号情報）・色彩学などを通して、ビジュアルコミュニケーションの歴史から、現在の状況までを体系的に講義する。また、写真やイラストや文字構成によるデザイン表現全般による多様な表現を知ることによって、様々な感性を身につける。

3. デザインと地域との関わり

上記してきたデザインを通して地域との関わりを意識し、「何を感じるのか」、「何を視るのか」、「何を創るのか」を学生自らが考えることを意識し、授業を行なっていく。

教育の成果 および 今後の目標

詳細は「授業改善報告書」を参照。

1年次のメディアデザイン基礎から、2年次からのメディアと文化・色彩学での講義を通じ、ビジュアルコミュニケーションを体系的に学ぶことで、学生自らの感性を高め、2年次でのグラフィックデザインおよび、DTP、映像サウンド表現3年時のメディアデザイン演習Aの授業などを通して、地域との連携を通して、デザインを実践的に身に付けることができた。

今後は、学生自らが感性表現について、より幅広い分野に興味を持ち、思考し、表現を深めていくことで、新たなビジュアルコミュニケーションの手法を段階的に広げていくことができるような、授業システムの構築を行なっていきたい。

<担当した学生の成果物（作品や発表の様子等）や教育に関する受賞歴など>

- ・2011年～2019年 つくばフェスティバル「フラワーアート」出展（メディアデザイン演習A）
- ・2012年 つくば駅隣接「南1駐車場（一般財団法人つくば都市交通センター）リニューアルサイン計画」採用（卒業研究）
- ・2014年 フリーペーパー「つくばグルメガイドブック 編集・デザイン」採用（卒業研究）
- ・2014～2019年 つくばクレオスクエア「プラザ・パフォーマンス・ギャラリー タペストリーによる空間デザイン」（メディアデザイン演習A、卒業研究）
- ・2015年 「みずほの村市場バンコク店の販促デザイン」採用（卒業研究）

参考資料

(1) 授業改善報告書（過去3年分のもの）

Google Classroom (URL : <https://classroom.google.com/c/MTY2MjA5MDUxNDNa>)、

(<https://classroom.google.com/c/MzUwMDMwOTM3NDNa>)、

(<https://classroom.google.com/c/MzMyMTg5ODc1NDJa>)

(2) 授業で使用した Powerpoint（部外秘）

メディアデザイン演習 A の授業用、グラフィックデザイン A の授業用、グラフィックデザイン B の授業用、メディアと文化の授業用、色彩学の授業用、映像サウンド表現 A の授業用、映像サウンド表現 B の授業用、DTP1 の授業用、DTP2 の授業用

(3) 「つくばクレオスクエア「プラザ・パフォーマンス・ギャラリー タペストリーによる空間デザイン」

<https://www.tutc.or.jp/2018/08/%E5%A4%A7%E5%9E%8B%E3%82%BF%E3%83%9A%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%AA%E3%83%BC>

(4) つくばフェスティバル「フラワーアート」

<https://tsukuba.keizai.biz/headline/239/>

<https://www.tsukuba->

g.ac.jp/whats_new/%E3%80%8C%E8%8A%B1%E3%81%A7%E6%8F%8F%E3%81%93%E3%81%86%E3%83%95%E3%83%A9%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%80%8D%E3%82%92%E9%96%8B%E5%82%AC%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F/

<http://www.tsukucen.net/eventreport/%E6%98%A5%E3%81%AE%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88/%E3%83%95%E3%83%A9%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%88-2012-/>